

「放射線のホント」撤回署名ニュース 6.12 政府交渉に向けて

No. 4

2019年5月31日発行

「放射線のホント」撤回、「福島原発事故被ばくは公衆の被ばく限度年1mSvの法令違反」など福島事故関連課題の政府交渉に参加を

6月12日(水) 参議院議員会館 B109 会議室 12:15～ ロビーにて通行証配布

12:30～ 参加者打ち合わせ

13:00～ 復興庁 ……「放射線のホント」撤回署名の追加提出と交渉

14:00～ 原子力災害対策本部 ……年20mSvの帰還政策撤回を求めて

15:00～ 原子力規制庁、資源エネ庁 ……ALPS処理水海洋放出計画の撤回

原子力規制庁 ……モニタリングポスト撤去方針の撤回

16:00～ 交渉結果のまとめと参加者意見交流 16:30 終了予定

主催：脱原発福島県民会議、双葉地方原発反対同盟、原水爆禁止日本国民会議、原子力資料情報室、全国被爆2世団体連絡協議会、反原子力茨城共同行動、原発はごめんだ！ヒロシマ市民の会、チェルノブイリ・ヒバクシャ救援関西、ヒバク反対キャンペーン

紹介議員：福島みずほ参議院議員

政府は、年20ミリシーベルト（以下mSvと表記）基準による避難指示解除を進め、「風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略」に沿って省庁挙げて、福島原発事故被ばくは健康影響はなく、福島は復興しつつあると世論を操作し、福島原発事故被害者を切り捨て、原発再稼働の地ならしをする政策を進めています。

前回12月20日の政府交渉では、福島原発事故による被ばくが「公衆の被ばく限度年1mSvの法令」違反との追及に対して、各省庁がそろって、「公衆の被ばく限度年1mSvは法律に定められていない」と、門前払いしようとしてきました。

今回6月12日の交渉では、「放射線のホント」の撤回を求める署名約3万筆を追加提出します（前回提出と合わせて5万筆）。署名を背景に、「放射線のホント」の撤回、福島原発事故被ばくは「公衆の被ばく限度年1mSvの法令」違反、ALPS処理水の海洋放出計画撤

回、モニタリングポスト撤去方針の撤回など、厳しく政府を追及しましょう。

【復興庁との交渉】 「放射線のホント」の撤回

「放射線のホント」は2018年3月に復興庁が「風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略」に基づき、関係行政機関における情報発信等のモデルとして、作成したものです。同じ「強化戦略」に基づく、内容も「放射線のホント」に類似の、小中高生向け「放射線副読本（再改定版）」に対して、市レベルで回収されるなど社会的批判が起きています。

累計5万筆の署名を背景に「放射線のホント」の撤回を求め、厳しく追及しましょう。

★復興庁は福島第一原発事故の被ばくを「余分な被ばく」と言い張り「不当な被ばく」と ⇒ **裏面に続く**

政府交渉に向けた討論集会 6月5日(水) 13:30～16:30

会場：参議院議員会館 B105 会議室 13:15～ ロビーにて通行証を配布

6月12日の政府交渉に向けて、福島からの報告と質問書をもとに交渉の追及点などを論議します。

署名用紙、署名拡大リーフレット、署名ニュースのダウンロード

原子力資料情報室 <http://www.cnrc.jp/8294> ヒバク反対キャンペーン <http://www.hibakuhantai.sakura.ne.jp/>

